

臨床看護学

母性看護学研究室

教授 塚田 トキエ
助教授 堀井 満恵
助手 長谷川 ともみ

◆ 原 著

- 1) 塚田トキエ, 長谷川ともみ, 堀井満恵: 母性看護学教育における少人数教育の活かし方-褥婦ケアを中心に-. Quality Nursing, 3: 592-598, 1997.
- 2) 濱畑彰子, 沢田愛子, 堀井満恵, 石山浩美: 健康な在宅老人の生活と生きがい. Quality Nursing, 3: 41-46, 1997.
- 3) KAGEYAMA, S., MATSUI, S., HASEGAWA, T., YOSHIDA, Y., SATO, H., YAMAMURA, J., KUROKAWA, M., YAMAMOTO, H. and K. SHIRAKI: Augmentation of natural killer cell activity induced by cytomegalovirus infection in mice treated with FK 506. Acta. virologica, 41: 215-220, 1997.

◆ 学会発表

- 1) 堀井満恵, 中田香織: 女子大生における月経随伴症状の実態. 第53回日本助産婦学会, 1997, 5, 東京.
- 2) 長谷川ともみ: 米国におけるInfection Control Nurseの役割. 第1回富山県院内感染対策研究会, 1997, 7, 富山.
- 3) 下条由季子, 長谷川ともみ, 湯川倫代: 看護学生の母子看護領域における感染防御に関する意識と倫理的配慮-同意書と質問紙の関連項目からの意考-. 第7回小児研究学会, 1997, 7, 神奈川.
- 4) 長谷川ともみ, 堀井満恵, 塚田トキエ: 冷パットを用いた会陰部の冷罨法による皮膚温・血流および皮膚感覚の変化. 第38回日本母性衛生学会総会, 1997, 9, 鹿児島.
- 5) 長谷川ともみ, 堀井満恵, 塚田トキエ, 佐藤ゑい子: 冷パットを用いた分娩直後の会陰部の冷罨法による創傷治癒および疼痛緩和効果. 第38回日本母性衛生学会総会, 1997, 9, 鹿児島.
- 6) 石田真由美, 堀井満恵: 妊娠経過に伴う乳房の発育と泌乳との関係. 第38回日本母性衛生学会総会, 1997, 9, 鹿児島.

地域・老人看護学

教授 (地域看護学) 村山 正子
教授 (地域看護学) 成瀬 優知
助教授 (地域看護学) 梶田 悦子
助教授 (老人看護学) 泉野 潔
助教授 (老人看護学) 服部 ユカリ
助手 (地域看護学) 大野 昌美
助手 (老人看護学) 前 畑 夏子

◆ 著 書

- 1) 杉本正子, 真船拓子, 村山正子, 大野絢子, 木下安子, 斉藤泰子, 中田まゆみ他: 在宅看護論-実践をことばに. 広川書店, 8-14, 東京, 1997

◆ 原 著

- 1) 大野絢子, 錦織正子, 佐々木美佐子, 宮地文子, 丸山美知子, 村山正子: 保健所市町村保健婦の母子保健業務に対する職場内教育の実態調査-卒後1~3年の新任保健婦を中心に-. 平成8年度厚生省心身障害研究報告書333-342, 1997
- 2) 村山正子, 丸山美知子, 山崎京子, 大野絢子, 宮地文子, 斉藤泰子: 保健婦の保健計画・施策化能力の育成に関する研究. 平成8年度地域保健における保健婦業の活動に関する研究班報告書267-277, 1997.
- 3) 山崎紀美, 北川定謙, 成瀬優知, 鏡森定信: 入院・入所要介護老人のニーズと適合施設に関する研究. 日本公衛誌, 44(4):257-264, 1997.
- 4) Naruse Y., Nakagawa H., Yamagami T., Sokejima S., Morikawa Y., Nishijo M., Tabata M., Semma M., Miura K. and Kagamimori S.: Ischaemic heart disease deaths in a Japanese rural area evaluated by clinical records. Journal of Epidemiology. 7(2):71-76, 1997.
- 5) 松田美千代, 中谷芳美, 成瀬優知: 脳卒中患者退院時の情報伝達状況とケアの継続性に関する研究. 北陸公衛誌, 23(2):65-69, 1997.
- 6) Matsubara I., Kagamimori S., Naruse Y., Nakatani Y., Matsukura H., Nakagawa H. and Iibuchi Y.: A Study on occupational differences in cerebrovascular disease mortality between Japan and Great Britain. Agricultural Medicine & Rural Health. 21(1): 32-42, 1997.
- 7) Matsui H., Maeda A., Tsuji H. and Naruse Y.: Risk indicators of low back pain among